

# 令和3年度こんにやく原料需給実績

(単位:精粉20kg/袋)

項目 年度(R3.11~R4.10)	需要量 (消費量)	供給量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
計算式	a=f-g	b:前年実績	c:実績	d	e:実績	f=b+c+d+e	g:注2参照
原料(国内・輸入)数量実績 (前年度実績)	253,800	266,800	244,100	2,000	13,900	526,800	273,100
	235,700	251,600	241,700	3,000	6,200	502,500	266,800
製品 輸入数量実績 (前年度実績)	18,500	0	0	0	18,500	18,500	0
	17,900	0	0	0	17,900	17,900	0
合計 (前年度実績)	272,300	266,800	244,100	2,000	32,400	545,400	273,100
	253,600	251,600	241,700	3,000	24,200	520,400	266,800
前年比(%)	107.4%	106.0%	101.0%	66.7%	133.9%	104.8%	102.4%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①原料需要量は、製造業者のサンプル調査より求めた買入量比使用率を、製造業者買入量推計値に乗じて253,800袋とした。

②期初在荷量は、⑥と同様の方法で算出したR2年度の期末在荷量266,800袋とした。

③生産量は、令和3年産生産量(54,200トン)から算出(54,200×1,000×歩留(9.009%)÷20kg)し、244,100袋とした。

④春切り量は、2,000袋とした。

⑤原料輸入量は、1次関税枠(125.0トン)及び2次関税枠(152.4トン)の合計輸入量(277.4トン)から算出(277.4×1,000÷20kg)し、13,900袋とした。

⑥期末在荷量は、供給量合計(526,800袋)から需要量(253,800袋)を引いて273,100袋とした。

また参考資料No.2にあるように在荷量の増減を計算することによっても同様に273,100袋となる。

⑦製品輸入数量は、輸入量(12,237トン)から、精粉換算(製品倍率33倍)で算出(12,237×1,000÷33÷20kg)し、18,500袋とした。